

広報

こだま

2022

Vol.41

【栗田病院 広報誌】

治療アラカルト

- ・クロザピン治療と支援
- ・アルコール依存症治療

介護のために家族が仕事を辞める「介護離職」を防ぐ
～認知症介護のデイサービス クリクリ市毛(ひたちなか市)～

フォーカス くりた人

精神科急性期治療病棟 (サクラ病棟)

看護師 根本菜也依



栗田病院グループ・理念 ～私達の求める姿～

私たちの使命は、患者様、利用者様、ご家族様、地域連携機関、地域住民、有朋会職員と
いったあらゆる方々の「こころ」に、温かな(ホットな)灯りをともすこと、笑顔を増やし続ける
ことです。その使命を果たすことで、以下3つの姿を実現します。

1. 医療・介護・福祉を統合した高品質のサービスを設計・開発し提供し続けている。
2. スタッフみなが有朋会の一員であることに胸を張っており、患者様、利用者様、ご家族様に
質の高いサービスを提供している。
3. 働きたい・学びたいと希望する方が絶えることなく集まってくる。



医療法人社団 有朋会
栗田病院

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505
TEL: 029-298-0175 Mail: yuhokai@yuhokai-kuritah.com
<http://www.yuhokai-kuritah.com/>

治療アラカルト

クロザピン治療と支援

クロザピン治療と対象となる方

クロザピン(商品名・クロザリル)は、今や世界百カ国以上で使われている治療抵抗性統合失調症治療薬です。日本では二〇〇九年に認可され、栗田病院では二〇一三年に採用を開始しました。採用にあたっては、C P M S登録医療機関として認められなくてはならず、さまざまな体制の整備が必要になっています。(C P M S : Clozari Patient Monitoring Service クロザピン患者モニタリングサービス)

茨城県では精神科の有床病床をもつ医療機関が約三十あります。そのうち、令和四年八月時点ではC P M S登録医療機関は九施設となっています。栗田病院は県内五番目に登録となり、県内では栗田病院が最北端となっています。

治療抵抗性統合失調症とは、さまざまな抗精神病薬をしっかりと服用していても効果がみられない「反応性不良」もしくは、副作用が出現してしまい十分な量の抗精神病薬を使用することができない「耐性不良」のどちらかが該当する病態を指します。薬の効果が十分に得られないということは、患者様にとって、現実ではない声(幻聴)に怯えて不安な毎日を送っていたり、水を飲むことを自分では止められずに鍵のかかる部屋で過ごさざるを得なかったりするなど、とてもつらい状況にあります。

こういった状況が続いていると入院自体も長期化してしまい、長く社会生活から離れてしまいます。



クロザピン調整看護師 高橋清美さん

長期入院患者の退院促進に

疫学的には、統合失調症の患者様は日本では約八十万程度いる(厚生労働省患者調査・平成二十九年)のに対して、治療抵抗性統合失調症の患者様は約八万〜二十四万人、つまり十〜三十パーセントと推察されています。統合失調症薬物治療ガイドラインでは治療抵抗性統合失調症へクロザピン治療が推奨されています。クロザピンは二〇〇九年に厚生労働省の認可が降りましたが、診療報酬では包括評価でしたので、薬剤料も検査費用も入院料に含まれていたため、なかなかクロザピンの処方率が上がりませんでした。このため、二〇二〇年に「治療抵抗性統合失調症治療指導管理料」として診療報酬が認められました。日本は二〇二五年までにクロザピン処方率を二十五(三十パーセント)にすることを目標に掲げていますが、2020年時点で4%といわれています。今後さらに重点課題となっていくことが窺われます。



先述したように、どの医療機関でも投与開始ができるわけではなく、検査体制、身体科との連携、C P M S登録医、C P M S登録薬剤師、C P M Sコーディネーター担当者等が必要になり、C P M S登録医療機関として認められなければなりません。そして導入した後に、治療を継続するための体制が非常に重要だと、私たちは考えています。入所意思がある患者様には法人内施設の宿泊型自立訓練施設「くりの実」に入所していただいています。自立生活に必要な

なプログラムに参加していただきながら、服薬管理や通院同行などを行い、継続医療をサポートしています。自宅での生活を希望する患者様には、訪問看護を利用していただいています。必要に応じて行政機関にも理解や協力を仰いでいます。クロザピン導入も重要ですが、退院後の生活の場、その場所に誰がどのように支援に入るかが重要課題と考えております。

新たな課題に直面

栗田病院でのクロザピン治療において、新たな課題が三つ見えてきています。一つ目は、法人外の施設等に向けたクロザピン治療の理解促進です。法人内の施設や訪問看護の利用となると、事前にクロザピン治療について共通理解をしているスタッフへと繋いでいくのでも連携が取りやすいです。しかし、住む場所については、その患者様の意思を尊重しているため、退院後そういった環境になるとは限りません。法人外スタッフへ、新たにクロザピン治療について説明したり、支援方法を共有したりすることが求められています。二つ目は、身体科医療機関との連携です。C P M S登録で求められている、連携先医療機関はあるのですが、実際に受診や転院調整をするとなると、なかなかスムーズにいかないのが現状です。処方薬にクロザピンがあることを理由に受け入れ困難となった症例もありました。身体科加療を優先していただけるよう、丁寧かつ迅速な調整を図らなくてはなりません。三つ目は、これまでの三十超の症例の経験から、改めて院内の体制を整備することが急務と感じています。業務を標準化し、更に患者様の地域生活の安定を図っていきたくと考えております。特殊な薬ではありませんが、患者様を支える支援者の姿勢は決して特別ではなく、これまでの延長にあります。各々が成長できる医療機関でありたいです。

治療アラカルト

アルコール依存症治療

アルコール依存症専門医療機関の指定を受けました

令和3年11月に、茨城県からアルコール依存症専門医療機関として指定を受けました。専門医療機関としては、県内3カ所目となります。担当する医師、看護師、公認心理士、精神保健福祉士は、専門研修を受講して対応しております。元々、当院ではアルコール依存症の患者様の治療を行ってまいりました。令和2年に断酒プログラムを開始し、令和3年に「アルコール依存症外来」を新設しました。また、自助グループへの参加定着が断酒のカギとなるため、自助グループの同行支援を実施しております。

アルコール依存症断酒プログラムについて

入院での断酒プログラムについては、全9回です。医師の助言のもと、看護師、公認心理士、精神保健福祉士がプログラムを担当し、約1ヶ月の入院治療の中で、専門のプログラムに参加いただきます。プログラムは入院している患者様の状況に応じて、個別もしくは集団で実施しております。料金は入院費に含まれます。

外来での断酒プログラムは、全4回です。医師の指示を受けて、公認心理士が担当し、認知行動療法を行います。患者様とご相談しながら、おおよそ週1回のペースで実施致します。料金は、1回

アルコール依存症新規患者様 診察の流れについて

予約

お電話で予約を承り、予約を取らせていただきます。予約時には、氏名、生年月日、居住地や主訴(飲酒について)等についてお聞きし、予約日を提案致します。



予診(診察前聞き取り)

診察前の聞き取りを精神保健福祉士もしくは研修医が行います。予診(診察前聞き取り)では、診断や治療に必要な情報の聞き取り(家族構成、生育歴や病歴等)を行い、AUDITの記入をしていただきます。



診察・検査

医師による診断、内服治療や社会資源の利用の有無等、治療方針に沿って治療が開始となります。必要時、採血等の検査を実施致します。

今後について

患者様の断酒に向けて、投薬治療や断酒プログラム等の治療だけではなく、自助グループへの参加や家族教育が必要となるため、引き続き、行政機関や自助グループの皆様と協力しながら、治療を進めていきたいと考えております。また、身体的な治療が必要な方につきましては、内科など他医療機関と連携していきます。

アルコールでお困りの方の受け入れを積極的に、依存症治療の充実を図って参ります。

5000円となります。

詳しいプログラムについては左記に記載します。

断酒プログラム(入院)

- 第1回 なぜ、やめなくてはいけないの？
- 第2回 引き金と渴望
- 第3回 あなたのまわりにある引き金
 - 1. 外的な引き金
 - 2. 内的な引き金
- 第4回 依存症ってどんな病気？
- 第5回 回復のために「信頼・正直さ・仲間」
- 第6回 あなたを傷つける人間関係
- 第7回 再発を防ぐには
- 第8回 強くなるより賢くなるよう
- 第9回 抗酒剤の服用と断酒会に行こう

断酒プログラム(外来)

- 第1回 アルコール依存症について知ろう
- 第2回 引き金と対処法について考えよう
- 第3回 自身のパターンや癖について考えよう
- 第4回 まとめ

介護のために家族が仕事を辞める 「介護離職」を防ぐ

認知症介護のデイサービス（クリクリ市毛）

介護離職を防ぎたい

厚生労働省の雇用動向調査によると、2020年に「介護・看護」を理由に退職・離職された方は約7・1万人でした。退職者の内訳を性別と年齢で見ると男性は「65歳以上」女性は「55～59歳」が最も多い介護離職世代となりました。

厚生労働省のホームページには「家族の介護を抱えている労働者が仕事と介護を両立できる社会の実現を目指して、仕事と介護の両立に当たっての課題や企業の両立支援策の状況を把握し、介護休業制度等の周知を行う等の対策を総合的に推進しています。」と記載されており、介護離職は日本全体の課題であると捉えております。

現在の日本では高齢者を支える多様なサービスや制度があります。私たちクリクリ市毛は、ひたちなか市にお住まいの認知症を有する方と、そのご家族を支援するために、「ご本人様が家での生活を続けたい」「ご家族が仕事を続けたい」といったニーズにお応え出来るよう、「ロングデイサービス」というサービスを提供しております。

一般的にデイサービスは高齢の方の昼間の活動や介護を目的として、お住いの家から通っていたくサービスです。適度な運動、レクリエーション等の活動を通して対人交流を図りながら、職員の見守りや入浴等の介護を受けることが出来るサービスです。「クリクリ市毛」では介護離職予防に焦点をあて、ご家族が仕事から帰宅される時間まで支援させていただきたいと考えました。そのためクリクリ市毛では昼食以外にも希望される方には朝食や夕飯も提供させていただき、PM7時までお預かりできる体制を整えております。

1日のスケジュール

- 8:30 送迎
- 9:00 クリクリ市毛に到着
レクリエーション・運動等
- 12:00 昼食
レクリエーション・運動等
入浴
- 16:00 送迎(通常利用の方)
- 18:00 夕飯(ロングの方)
- 19:00 送迎(ロングの方)



民家を改修した建物で施設らしさがなく、馴染みやすい雰囲気です。



利用者が明るい気持ちで通所できるよう、建屋の中には季節に合った明るい飾りつけを施しております。

クリクリ市毛 責任者コメント

お仕事をしながら在宅で介護をしていらっしゃる方を応援するため、クリクリ市毛がロングデイサービスにリニューアルして4年目に突入しました。

昼食はもちろん夕食、朝食の有料サービス、PM7時までのお預りサービスを提供させていただいてます。ご家族様より、「二人にさせてしまう時間が減って安心」「就業時間が不規則なので夕食を食べるから帰宅なので助かる」等のお言葉を頂戴しています。その他、子供の学校行事の為、介護者の方が自身の時間を持ちリフレッシュをする為、等々、ロングデイサービスの使い方は様々です。ロングデイサービスを利用していただき、少しでもご家族様の介護負担の軽減に繋がればと考えております。また、クリクリ市毛は明るく、楽しい環境作りにも力を入れています。室内は季節感を取り入れた飾り付けをし、利用者様をお迎えしています。見学にいらしたご家族様にも好評です。今後は職員力を合わせて質の高いサービスの提供を目指すとともに、クリクリ市毛にきて良かった、と言っていたただけるデイサービスにしていきます。



クリクリ市毛 課長 鴨志田和美さん

お気軽にご相談ください

クリクリ市毛にご興味をお持ちの方は、まずは一度お気軽にご連絡ください。介護保険をまだ利用した事がない方でも、既に何かしらのサービスを利用中の方でもお気軽に見学などにお越しいただけましたら幸いです。

TEL 029127510262

フォーカス くりた人



看護師 根本菜也依

当院で働く、現場職員の声をお伝えします。

配属部署での役割や活動、担当業務

私は急性期病棟であるサクラ病棟の看護師として勤務しています。昨年4月に入社し、今年で2年目になります。サクラ病棟では、患者様の身の回りのお世話や点滴注射など看護業務全般を行っています。患者様との関わりとしては、入院初期では患者様の安全確保や心温まる場を提供できるよう努めています。回復期には生活リズムの確立・患者様の疾患の受容や理解に向けて支援しています。退院準備期には社会復帰に向け、様々な課題と向き合いながら退院への準備をすすめています。また、サクラ病棟では多職種と連携して治療プログラムやカンファレンスを行い、個別性に富んだ患者様に合った看護が実践できることを目標にして業務しております。

看護師は患者様と関わる時間が多く、最も距離が近い職種だと思っています。

そのため、日々変化していく患者様の状態をよく観察し、異常の早期発見や予測的看護ケアが求められていると感じています。こういった視点を意識しながら、日々業務しております。



業務の中でのやりがいや嬉しかった事

以前、入院された患者様の中に、自分の意に反したかた

ちで強制入院となった患者様がおりました。その患者様は、入院されてから拒食・拒薬が続く治療に対して拒否的な日々が続きました。私は、この患者様に寄り添い時間をかけてコミュニケーションをとり、信頼関係を築いていけるよう努めました。その結果「あなたが担当だと安心する。ありがとう」といったお言葉を頂くことができました。そして、治療に対する拒否もなくなり治療を受けて回復されていく姿を見ることができました。このときは、すごく嬉しくやりがいを感じました。

また、他の患者様からも「忙しいのに、いつも最後まで話を聞いてくれてありがとう。あなたに話して良かった」「あなたに出会えて良かった」などと感謝のお気持ちやお手紙を頂けることがあります。こういった感謝のお気持ちやお手紙を頂いたときも、とてもやりがいを感じています。

患者様との関わり、他スタッフとの関わりで気を付けていること

患者様と関わる上で特に大切にしていることは、基本的信頼関係の確立です。患者様は強い不安や恐怖感を持って入院される方が多いです。また、治療に対して拒否的であったり看護師に対して攻撃的になることもあります。そういった患者様に対して、真摯に向き合い時間をかけて寄り添うことで信頼関係が築けるよう関わっています。

サクラ病棟に入院されている患者様の病期としては、急性期から退院準備期と様々な治療課程の患者様が入院されています。そのため、患者様それぞれの病状や治療課程をしっかり理解した上で関われるよう努めています。

他スタッフとの関わりで気を付けていることとしては、自分以外のまわりをフォローすることです。サクラ病棟は、スタッフ間の人間関係がすごく良いです。看護方式や協力体制もしっかりしていて、スタッフ間で積極的に協力し合う風土ができていてと感じています。どの先輩スタッフも自分の受け持ち範囲とは全く関係のないところでも、率先してフォローに入ってくれます。そのため、非常に働きやすく業務も円滑にすすみます。まわりを積極的にフォローし気配り・自配りのできる先輩スタッフの背中を見て、自分もそうなりたいと思えました。そして、自分よりも後から入社してくる後輩スタッフに、まわりをフォローできる自分の背中を見せられるようになりたいと思っています。

看護師を目指したキッカケ

私が看護師を目指すキッカケになったのは、幼い頃に母が入院したときに関わってくれた看護師さんです。その看護師さんは、母だけでなく私たち家族に対しても真摯に向き合ってくれ、優しく声をかけてくれました。その経験から、私も人のために何か役に立つ仕事がしたいと思い、看護師を目指しました。私は以前に3年ほど急性期の内科混合病棟で働いており、そこで精神疾患をもつ患者様と関わらせていただくことがありました。そういった経験を通して、精神疾患を持つ患者様やそのご家族様の力になりたい、と思うようになり、精神科の専門である栗田病院で働くことを決めました。



これからの自分、今後の目標

私は看護師として、まだまだ未熟です。これから益々成長していきたいと思っています。成長に向けて、患者様一人一人に対し誠心誠意向き合い常に学ぶ姿勢をもつて日々の業務を遂行したいと思っています。また、患者様・ご家族様・スタッフとの関わりの中から自らの課題を見つけ、その課題から目を背けることなく真摯に向き合い、日々成長していけるよう志しています。

他には、院内の研修だけでなく院外の研修についても受講させていただき看護師としてのキャリアを積み重ねていきたいです。また、多くの経験を積んでスキルアップし、学生や後輩の教育指導に携わらせていただきたいと考えています。そして、学生や後輩に患者様ご家族様に寄り添う気持ちの大切さを伝えていきたいと思っています。学生指導の先には、認定看護師や専門看護師の取得についても情報を収集し、看護師としての専門性をより高めていきたいと考えています。

本インタビューは
下記から動画にて閲覧可能です。



診療案内

外来担当医一覧表

	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1 診	栗田	疋田	安部	栗田	鈴木	水挽
	2 診	安部	高橋	堤	木滝	堀	第2週 鈴木 第3・5週 吉川
	3 診	堤	早坂	木滝	増本	疋田	佐々塚
	5 診	須能		水挽	富野	翠川	富野
午後	1 診	栗田	佐々塚	安部	栗田	鈴木	水挽
	2 診	安部	高橋	木滝	木滝		
	3 診		早坂	須能			
	5 診	隔週 藤沼					

初めての外来受診・入院を希望される方へ

1. 電話で患者様の情報や現在の状況をご相談下さい。

2. 次にケースワーカー（相談員）が詳しい話を伺い、その後ご予約をお取りします。

※現在他病院を受診している、もしくは受診していた場合は紹介状が必要になります。

※当日の状況により、予約内容が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

■ = 内科

<午前の部> <午後の部> *精神科外来は完全予約制になります。
 受付時間 8:30～11:30 / 11:31～16:00 *当日のご予約は行っておりません。前日までにご予約をお願い致します。
 診察時間 9:00～ / 13:30～ 予約電話対応時間 月～土（祝日を除く）9:00～17:00 TEL.029-298-0175

関連施設

サテライトクリニック

「こころのクリニック水戸」 〒310-0801 茨城県水戸市桜川2-5-15 TEL.029-231-0150 FAX.029-231-0152

障害福祉サービス事業所 自立訓練(生活訓練) ショートステイ

「くりの実」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505 TEL.029-295-1834 FAX.029-353-2223

障害福祉サービス事業所 グループホームくりの木

「第1くりの木」 「第2くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7652
 「第3くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7680 FAX.029-295-7681
 「くりあん」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3429-2 TEL.029-231-2280 FAX.029-231-2281

就労継続支援B型事業所

KURITAワークサポートセンター
 「Work-Work」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3923-5 TEL.029-231-7066 FAX.029-231-7067

認知症デイサービス

「クリクリ市毛」 〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛上坪1186-2 TEL.029-275-0262 FAX.029-275-0263
 「クリクリ金上」 〒311-0022 茨城県ひたちなか市金上1031-1 TEL.029-271-1607 FAX.029-271-1608

小規模多機能型居宅介護施設・認知症グループホーム

小規模多機能ホーム「クリクリ」・認知症グループホーム「クリクリ」
 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰140-17 TEL.029-352-0016 FAX.029-298-7750
 認知症グループホーム「クリクリ田彦」
 〒312-0063 茨城県ひたちなか市田彦950-48 TEL.029-275-8701 FAX.029-275-8702

アクセスマップ

